

帯広市図書館からこんなことを発信しています。

その117 とかちジュニア文芸 応募締切せまる

とかちジュニア文芸 第7号

作品応募の締め切りは10月10日（月・祝）

十勝に在住している小学生から18歳以下の世代を対象にした、文芸作品（小説・童話・戯曲・詩・短歌・俳句）の公募コンクールを開催中です。入選作品は「とかちジュニア文芸」第7号に掲載されます。今年、文芸誌の表紙絵も募集しています。



ジャンル	応募のきまり		
小説 童話 戯曲	3枚以上 20枚以内	400字詰め原稿用紙 (ワープロ、パソコン使用の場合も400字に設定してください)	<ul style="list-style-type: none"> 氏名は原稿用紙の1枚目、右側の欄外に記入してください。 応募原稿にページ数を記入してください。 B以上の濃い鉛筆か、濃い黒ボールペン(太め)で書いてください。 別紙の応募票に記入して、作品に同封してください。(1作品につき1枚) 応募のきまりが守られていないものは受付できません。
詩	5枚以内		
短歌	3首以上	専用の応募用紙	
俳句	3句以上	※俳句のきまり…1句の中に季語は必ず一つ入れましょう!	

- ★応募要項は図書館内に設置しています。
- ★短歌・俳句の専用の応募用紙、作品と一緒に提出する応募票は図書館ホームページからダウンロードすることもできます。



帯広市図書館

お問い合わせ 帯広市図書館 (0155-22-4700)

今月の特集

- ★帯広市図書館から、こんなことを発信しています。
 - 【とかちジュニア文芸】
- ★テーマ別オススメ資料
 - 【チャレンジ!〇〇活】
 - 【神話の世界へようこそ】
- ★調べてみよう・レファレンス
 - 【十勝石について】



CITY
LIBRARY

2016.10 vol.118



帯広市図書館

よむ☆トシヨ

テーマ別に図書館のオススメ資料をご紹介します!

秋の穏やかな気候になってきました。
 10月27日～11月9日は第70回読書週間です。図書館でも読書に親しむための資料の紹介・展示はもちろんのこと、いろいろな行事を準備しています。その一例として・・・。
 音声ガイド付き映画会(2日)、朗読会(8日/15日)、マタニティファミリー向けおはなし会(26日)などがあります。
 くわしくは図書館内チラシ、ホームページをご覧ください。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

10月のカレンダー
 色のついている日は休館です。

○●○○● 神話の世界へようこそ ○●○○●



物質的に満たされ、高度情報化社会に身を置きつつも、時には、超自然的・幻想的な世界観に憧憬と畏怖の念を持ち続けている私たち。秋の夜長のひと時、神秘的で不思議な神話の世界を紐解いてみませんか?

BOOK



『神話で訪ねる世界遺産』 蔵持不三也;監修
 ナツメ社 2階一般 請求記(164シ)

神話の世界が脈々と流れているさまざまな国や地域の世界遺産に選ばれた場所にスポットをあてた本です。遺産の概要を解説しつつ、各遺跡にまつわる神話を紹介しています。豊富な写真や神話があなたを古代世界へ誘ってくれることでしょう。

BOOK



『西洋異形大全』 エドゥアル・ブラゼー;著 ダコスタ吉村花子;訳
 グラフィック社 2階一般 請求記(388.3ブ)

ずっと昔から人々に親しまれ、また時に恐れられ続けてきた、西洋の神話や伝説等に登場する異形たちを紹介した興味深い一冊です。妖精・幻想動物などの異形たちを、多数の図版とともに解説しています。天使とは…、吸血鬼とは…、魔女とは…?

BOOK



『オリーブの歴史』 ファブリーツィア・ランツァ;著 伊藤綺;訳
 原書房 2階一般 請求記号(617.9ラ)

旧約聖書の「ノアの箱舟」エピソード、大洪水のあとにハトがくわえてもどってきたものは、そう、オリーブの枝でした。神話や宗教の中で、象徴的で重要な役割を担ってきた「オリーブという植物」。その起源と歴史、利活用や文化との関わりなどについて説きます。

BOOK



『物語と伝説の植物』 椋原昭矢;著
 新紀元社 2階一般 請求記号(623.04ハ)

神話・童話・映画など、物語に登場する植物を紹介し、現実の植物として育てる方法を伝授する目新しい園芸書です。それぞれの物語と植物の逸話は読み物としても十分楽しめます。さて、本書を読後のあなたの関心は、植物の方?それとも物語の方?



終活 ■■■ チャレンジ〇〇活 ■■■

就活・婚活・妊活・保活・転活・終活・涙活・朝活・菌活・腸活・・・まだまだある〇活、に注目しました。人生〇活だらけ?と驚くほどに〇活本がたくさん出版されています。目標のため、健康のため、と目的はさまざまですが、意識的に取り組むことでよい結果があらわれると期待して気になる〇活に挑戦してみたいかがでしょう。

BOOK



『涙活でストレスを流す方法』 寺井広樹/有田秀穂;共著
 主婦の友社 2階一般 請求記号(498.39テ)

日々たまって行くストレスをあなたは、どのように解消していますか?色々な方法がありますが、意識的に涙を流す「涙活」もそのひとつです。涙ソムリエが選んだ泣ける映画・音楽・書籍が詳しく紹介されています。「涙のツボ」をぜひ、探してみてください。

BOOK



『俺たち妊活部』 村橋ゴロー;著
 主婦の友社 1階生活 請求記号(599.2ム)

著者夫婦が不妊治療を経て子どもを授かるまでの道のりが綴られています。クリニックでの感想や治療過程、お互いを気づかう夫婦の姿にホロリとします。男性側のリアルな本音も掲載。暗くなりがちな内容ですが随所に笑いがあり一気に読むことができます。

BOOK



『僕の死に方 エンディングダイアリー500日』 金子哲雄;著 小学館 2階一般 請求記号(289.1カ)

若くして亡くなった流通ジャーナリスト金子哲雄氏の最後の著書。スーパーのチラシを見るのが日課だった子ども時代から予命宣告をうけても死の間際まで仕事を続けた最期まで綴られています。奥様が書いたあとがきには、ご夫妻の揺るがない愛情が、何気ない言葉のやり取りから感じとられ胸に響きます。

BOOK



『出張料理 おりおり堂 卯月～長月』 安田依央;著 中央公論新社 1階文学1 請求記号(913.6 ヤスタ)

主人公は、結婚を夢見る32歳の澄香。ひよんなことから「出張料理 おりおり堂」でクールな天才料理人、仁の助手として働くことになります。目にも美しい旬の料理や季節の移ろいが文章を通して鮮明に伝わってきます。澄香と仁の今後の恋愛模様が楽しい。婚活を応援したくなるほっこりする物語です。

◆ ◆ ◆ エッセイとは、自由な形式で気軽に自分の意見などを述べた散文のことを言います。新聞や雑誌などにも掲載されています。今回は作家のエッセイ集に焦点をあてて展示・貸出します。本音炸裂に意外な素顔が見えてきます。

作家の日常



BOOK



『息子に贈ることば』 辻仁成;著
 文藝春秋 1階文学1 請求記号(914.6 ツジ)

パリで息子とふたりの生活になったお父さんからおぼれたつぶやきをまとめたものです。「精一杯生きる」という言葉が随所に見られ、ちょっとした失敗やうまくいかないことと折り合いをつけながらも前に進む姿に勇気がもらえます。

BOOK



『モーロクのすすめ 10の指南』 坪内稔典;著 岩波書店 1階文学1 請求記号(914.6 ツボウ)

俳人ねんてん先生による老いの心得集です。67歳になっても心は20歳のときと変わらず、毎日がわくわくすることの連続と未知との遭遇をユーモアたっぷりに綴ります。新聞連載をしていたため季節の話題が豊富で折々の空気を楽しむことができます。

BOOK



『一〇三歳、ひとりで生きる作法』 篠田桃紅;著 幻冬舎 1階文学1 請求記号(914.6 シノダ)

現役最高齢と言われる美術家の桃紅さんの随筆集。短歌や日本画を引き合いにしながら創作の源やこれまでの生き方、老いてからの現在の心境など、読者の年代によってハッとさせられる部分は違えど教養と含蓄のある言葉に背筋が伸びます。

BOOK



『七つの空、二つ水』 東直子;著 キノブックス 1階文学1 請求記号(914.6 ヒガシ)

広島出身の東さんが郷土の中国新聞に連載していたエッセイです。短歌と歌人を紹介しながら、季節のうつろいを言葉にしていきます。旅先のエピソードが多いのも特徴的です。歌人の目に映るものが、31文字に凝縮され読者の想像力を刺激します。

BOOK



『ありきたりの痛み』 東山彰良;著 文藝春秋 1階文学1 請求記号(914.6 ヒガシ)

又吉、羽田の両氏が芥川賞受賞時に直木賞を受賞した東山さんの映画評論とエッセイをまとめた1冊。骨太な作品とは違う意外とおちゃめな人柄が垣間見えます。直木賞受賞からはじまるお祭り騒ぎの怒涛の日々編は読んでいなくても目が回る忙しさです。

BOOK



『二度寝とは、遠くにありて想うもの』 津村記久子;著 講談社 1階文学1 請求記号(914.6 ツムラ)

自称「気安い顔」の芥川賞作家津村さんの日常は家のなかで物を観察することに始終している。と言っても過言ではないほど、エッセイを読むたびに妙な安心感を得ることができます。「そうそう」と共感しながら、時に爆笑の発作に襲われます。

